



柏原中だより

令和8年3月号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 255名
＜学校教育目標＞ 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

校長 采澤 敬

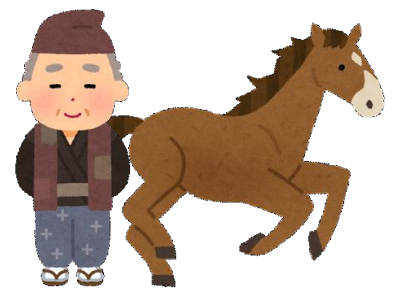
春の草花が芽吹く季節となりました。学校では一年間の教育活動を振り返り、次年度へ向けた方針づくりを進めています。併せて、三送会や卒業証書授与式の準備も進行中です。

3年生は先日、県公立高校入試に51名が挑戦しました。インフルエンザ等が心配される中、ご家庭のご協力をいただき終えることができました。5日（木）の三送会に向け、1、2年生も準備に励んでいます。卒業式や修了式など節目の行事が続く今月をしっかりと締めくくり、次年度の良いスタートにつなげてまいります。引き続き本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

「人間万事塞翁が馬」

中国の古い故事に「人間万事塞翁（さいおう）が馬」という言葉があります。幸運が不運に、不運が幸運に変わることもあり、物事は一時の結果だけでは判断できない、という教えです。物語の主人公である“塞翁”という老人の馬が逃げてしまったとき、周囲の人々は「大変な不幸だ」と慰めます。しかし老人は「これが幸いになるかもしれない」と言います。すると数日後、逃げた馬が立派な馬を連れて戻り、周囲は今度こそ「幸運だ」と喜びましたが、老人は「これが災いになるかもしれない」と返しました。やがてその馬に乗った息子が落馬して足を折ってしまい、周囲は「やはり不運だ」と嘆きます。ところが戦が起こり、多くの若者が徴兵される中、足を負傷していた息子は徴兵を免れ、命が助かりました。

このように、人生の出来事は良いことも悪いことも、長い目で見なければ本当の意味は分かりません。学校生活でも、テストや部活動の結果、人間関係の悩みなど、思うようにいかないことがあるでしょう。しかし、その経験が成長につながることは少なくありません。苦しい出来事が、未来の自分を強くしてくれることもあります。目の前の結果に一喜一憂せず、広い視野で物事を捉えてほしいと思います。



■ 狭山特別支援学級・学校合同作品展

1/31～2/1、入曽地域交流センターにて、狭山特別支援学級・特別支援学校による合同作品展が開催されました。本校のカラフル学級からも、習字や刺繍、木工作品など、日頃の授業で制作した多くの作品を出品しました。中でも、切り絵で作られたステンドグラスは非常に緻密で美しく、来場者の目を引いていました。ステンドグラス作品は、本校の職員玄関に現在も展示しておりますので、お立ち寄りの際にはぜひご鑑賞ください。



3年生食育教室

2/3（火）3年生を対象に、食育に関する授業を実施しました。当日は柏原学校給食センターから川崎先生をお招きし、朝食を取ることの大切さや、受験期の望ましい食生活についてお話しいただきました。生徒たちも自分の生活を振り返りながら、真剣に耳を傾けていました。



新入生保護者会・体験授業

2/6（金）、本校の体育館で新入生保護者会を行い、6年生は新入生体験授業にも参加しました。来年度、新入生は3クラスを予定しています。春の門出に向け、新入生を迎える準備が着実に進んでいます。



狭山市吹奏楽祭

2/8（日）、狭山市市民会館にて狭山市吹奏楽祭が開催され、市内8中学校をはじめ、小学校・高校、一般団体など計19団体が出演し、会場は終日大きな盛り上がりを見せました。本校吹奏楽部も、少人数ながら日頃の練習の成果を発揮し、息の合った堂々とした演奏を披露しました。また、狭山ウインドシンフォニーのステージでは、本校の渡辺芳徳教諭が指揮を務めました。

全校鬼ごっこ

2/10（火）の昼休みに、体育委員会が主催する「全校鬼ごっこ」を行いました。体力づくりや冬の運動不足解消を目的とした取り組みです。1～3年生の生徒と教員と一緒に校庭を走り回り、笑顔があふれる温かな時間となりました。学校全体が元気に包まれた、心地よいひとときでした。



1、2年生保護者会

2/12（木）、13（金）に、それぞれ1、2年生の保護者会を行い、5時間目には授業参観も実施しました。多くの保護者の皆様にご来校いただき、生徒たちの学校での様子も見ていただきました。1年生は職場体験の報告会を行い、保護者の皆様も興味深そうに耳を傾けていました。

本年度は大変お世話になりました。来年度も、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

